

ほうこん

題字・清水英夫

第45回ギャラクシー賞贈賞式は 来年6月3日(火)に決定!

9月理事会報告

9月27日理事会を開催。
◇「GALAC」について
12月号の表紙は、久米宏が登場。
ニュースな人は、フジテレビ豊田
皓社長。特集は「お笑い芸人ブー
ムのポストモダン」。その他、第
7回日韓中テレビ制作者フォーラ
ム・天津大会をレポートする。

◇選奨事業委員会
ギャラクシー賞上期の入賞作品
を10月末を目処に選考中。ラジオ
ギャラクシー賞を聴く会第6回を
9月8日に岩波セミナールームで
開催。参加者は55名。学生の参加
が多く、入賞作品の制作者と熱心
な質疑を行った。なお、ラジオ選
奨委員の西山弘道さんがご本人の
希望により7月末で委員を退いた。

◇企画事業委員会
△デジタル時代の視聴者像Vを
大テーマとした勉強会のセミナー
を開催する。日時は、10月24日(水)

1時より、場所はアルカディア市
ヶ谷。参加料に学割を設けた(詳
細は別紙をご覧ください)。
◇グランドデザイン小委員会
リーダーの音副理事長より報告。
8月と9月に会議を行い、財源、
事業、組織のあり方などを討議。
今後、理念を構築し12月に中間報
告、来年4月に最終結果を提出す
る。

◇マイベストTV賞
リーダーの滝野理事より報告。
懸案だったケータイからの投票を
10月下旬から実施する。これによ
り20代の参加者を増やし投票率を
上げたい。インセンティブを高め
るために「GALAC」のプレゼ
ントを検討する。

◇日韓中テレビ制作者フォーラム
第7回大会が中国・天津で9月
12日〜16日に開催され、参加した
志賀理事長、岩本理事、事務局福

鳥さんからそれぞれ報告があった。
2008年は、日本・福岡での開
催が決まっている。志賀理事長は、
日韓中3カ国による共同制作を模
索することと、テーマを決めて中
味の濃い議論が出来るかどうかを
今後の課題として上げ、若い世代
へ橋渡しをしたいと述べた。
◇細則(委員会、委員等)の改定
現在、第9条で委員長と委員の
任期は2年とする、3期以上連続
して務めることはできない、と定
めているが、選奨事業委員会では
現状にそぐわない事態も生じてい
る。細則として明文化を進める必
要性はあるが、運営上は理事会の
裁量の余地、委員長の権限を残す
方向でグランドデザイン委員会で
さらに検討する。

◇第45回ギャラクシー賞贈賞式
2008年6月3日(火)、場所は
例年通りウエスティンホテル東京
に決定。

◇正会員の入会を承認
佐々木純さん

◇維持会員社の入会を承認
スカイパーフェクト・コミュニ
ケーションズ、山梨放送、BS朝

第7回日韓中制作者フォーラム (天津)に参加して

事務局・福島美子

ドラマ作品鑑賞後のディスカッション



九月十二日から十六日まで「第
7回日韓中制作者フォーラム」に
参加した。
まず、成田空港から北京へ、約
三時間半の飛行時間に着陸。北京
の町が見えたときの第一印象は随
分ほこりっぽい。
空港の税関を通過して出てくると、
アジアのドラマ事情を研究するた
めに中国に滞在していた日大芸術
学部の中町綾子准教授と合流。彼
女は昨年も北京に来ていたので何
かと心強い。
約三時間で天津天保国際酒店ホ
テルに到着。天津もほこりっぽい。
部屋にチェックインして早速テレ
ビをつけてNHKが見られるかチ
ェックしてみるが、どうやら見ら
れないよう。この時点ではCNN
とHBOとフランス語のテレビを
見ることができた。北京に到着し
た時に安倍首相辞任のニュースを
聞いたが、CNNを見ていても日
本のことあまりでてこないの
中国のテレビは何をやっているの
かと見てみるが、ドキュメンタリ
ー専門、子ども番組、韓国ドラマ
CMばかり流しているチャンネル
など約二〇局あるのはわかる。
しばらくして歓迎会の開催され
る国際会議場へ。各国代表の挨拶

があり、歌、演奏、
マジック、舞踏など
など次から次に中国
芸能をみせられる。
また、料理も次から
次に出てくるので、
それを消化するのが
精一杯だった。
ようやく歓迎晩餐
会が終わる自分の部
屋に戻ってシャワー
を浴びようとするが、
シャワーヘッドは方
向の調整はできても
高低の調整ができない。しばらく
してくと足元にお湯がたまって
くる。なんかあふれそうだと危機
感をもっていたら、やっとお湯が
はけてくれた。
二日目は九時から開幕式、特別
講演後、午後三時からドラマ、ド
キュメンタリー、エンタテインメ
ント(芸能)の各分野に分かれて
作品を鑑賞して、意見交換が始ま
る。中町氏と私はドラマを鑑賞し
たが、まず中国の「鑑賞」。この
回は弟子の離脱、伝染病を治すな
ど盛りだくさんで、鑑賞役の役者



開幕式でスピーチする志賀信夫理事長

に説得力があるので、もっと続き
を見たかった。続いて日本の「Dr.
コトー診療所2006」(フジテ
レビ)を鑑賞。次は韓国の「お金
の問題」。父親の作った借金で一
家がばらばらになっていく話を若
い監督らしいスピード感のある演
出で見せるのだが、日本語の字幕
が直訳で、意味が伝わらない。ま
た、字幕のテンポが速すぎて読め
ない事態が発生。内容はなんと
かわかるのだが、画面に集中でき
ずに疲れた。この問題はこの後も
改善はされず、イライラは募る。
また、この作品は規定の六十分
はるかにオーバーした九十分あっ
たため、いったん視聴をやめて、

残りには最後に見るようになる。
その後日本の「夫婦道」(TBS)を鑑賞。続いての作品は、八歳のエイズ患者と未婚の母、その母に魅かれる医師(多分)、偏見に満ちた周囲の人びとなどを描いた韓国の「ありがと」。全一六回の中盤くらいの回で、ほとんど説明なしで最初はどうなることかと思われたが、健気な子役と大人たちの演技に引き込まれた。このドラマの時代設定がいつなのか、韓国内でのどのような反響があったのかなどを聞きなかったが、視聴し終わったのが午後十時二十分だった。



塘沽大劇院での授賞式(中央はフジテレビ・中江功氏)

そのため、ほとんど質問の時間が取れなかった。その後、「お金の問題」の残りを見終わったのは午後十一時を回っていた。それぞれの作品はどれも見応えあり質問時間をもっとあればと悔やまれる。部屋に戻って簡単なヨガをやったクールダウン。それから洗濯したのだが、日本では少しの量で泡立つのに、水質が違うのか、泡立たずちよつとあせる。

9月14日

三日目はまず中国の「一人の女婚は半分の息子」を鑑賞する。コメディなので、中国の人たちはところどころ笑っているが、またまた字幕が理解不能のため、その面白さはあまり伝わらなかった。

その後、分野別討議で参加国が抱える問題が討議される。中国では何年か前まではテレビの中ではドラマが一番だったが、インターネット、携帯電話の普及で若者の視聴形態が

変わってきているとの報告。韓国ではドラマはテレビの中では高い地位を占めていて、インターネットの登場には影響を受けていないのではという意見だったが、役者のギャラの高騰で、制作費が拡大しているのが一番の問題のようだ。

9月15日

朝八時からパトカー先導で観光に出発。約一時間で天津博物館に到着。北京の町も交通渋滞がひどいらしいけど、天津もバスから見ると片側車線が混んでいるので、パトカーの先導がなければスムーズに行かなかったのだろうが、さすが中国と感心してしまった。博物館見学は一時間で終わって文化町(東京では浅草のような感じ)でお土産を購入する。

今回、食事は歓迎晩餐と歓迎晩餐を除いてすべてバイキングだったが、中華はもちろん、日本風、韓国風の料理が含まれていたもので、当初の予想を超えて、飽きることなく過ごすことができた。会議のときにはお茶のサービスがあるが、食事のときの飲み物はビールかスプライト、コーラだったが、お茶は飲まないのだろうか。私は田代

分野別討論(ドラマ)



中町氏と筆者(左から)

専務理事の言いつけを守って氷の入った飲みもの、生野菜を口にできなかったが、普通に食べていた人たちも別にお腹を壊すことなく無事だったようだ。

今回、参加させていただいて強く思ったことは、制作者と直接意見の交換などができるのに、ディスプレイの時間だけでなく消化不良になっているようで、非常にもったいないということ。来年はぜひ時間的な余裕のある日程を希望しています。

日、サンテレビジョン
◇次回の理事会
10月29日(月) 6時30分より
「出席」志賀信夫、音好宏、田代勝彦、小田桐誠、市村元、岩本太郎、隈部紀生、坂本衛、篠原俊行、嶋田親一、滝野俊一、永田俊和

新入会員

◇佐々木純(ささき・じゅん)

新入維持会員社

◇株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ
(代表者)
仁藤雅夫(代表取締役社長)
◇株式会社山梨放送
(代表者)
野口英一(代表取締役社長)
◇株式会社BS朝日
(代表者)
神村謙二(代表取締役社長)
◇株式会社サンテレビジョン
(代表者)
清水信一(代表取締役社長)

新入会員自己紹介

会の声を制作現場に 中村正敏

一九九六年にNHKに入局して以来、教育テレビを中心に番組制作ディレクターとして過ごしてきました。現在はNHK労組・日放労の専従をしながら、放送制度の枠組みや、番組・編成のありかたについて現場の視点から考え、現場に還元することを仕事としています。

放送というのは実に巨大なシステムで、容易に動かせるものではないことをつくづく実感します。一方で多様化・細分化・効率を求める方向へどんどん進んでいく視聴者ニーズにどう対応すべきかは困難極まりない課題です。さらには、そうした対応を進めていくと、放送がこの社会で持っていなければいけない最低限のクオリティも守れなくなるのではないかと、という危惧もあります。混沌とした状況の中、制作現場の今の状況をこの懇談会で述べ、また、懇談会の声を制作現場に届け、視聴者にとってよりよい放送をもうしづら

く考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

会議記録

〔8月〕
13日 グランドデザイン小委員会
 選奨・テレビ月評会
23日 出版編集委員会
24日 選奨・ラジオ定例会
27日 企画事業委員会
31日
〔9月〕
18日 グランドデザイン小委員会
 選奨・CM定例会
19日 選奨・ラジオ定例会
21日 選奨・テレビ月評会
25日 理事会
27日 企画事業委員会
28日